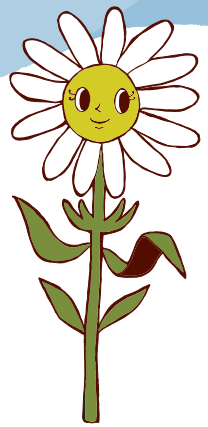


雨といきもの展

雨がふったら はじまるよ
いきものたちの 全国ツアー!



カワラノギク
Aster kantoensis kitamura (キク科)

- 開催館 = 荒川知水資料館 (amoa) 2階
- 開催期間 = 平成26年10月7日(火) ~ 11月14日(金)
- 休館日 = 毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
- 開館時間 = 9:30 ~ 17:00 ●入館 無料
- 主催 = 国土交通省荒川下流河川事務所 ●企画制作 = 水の巡回展ネットワーク
- 協力 = NPO法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ、土木研究所 自然共生研究センター、東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、日本河川・流域再生ネットワーク



この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

雨といきもの展

ぼくらは
アマツブ楽団
よろしくね！ ☆



●みなさんは雨がすきですか？きらいですか？

●雨の音がすき、長靴がすき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対するいろいろな想いがあると思います。●では、私たち人以外のいきものは、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろないきものの立場から雨をみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所を好む魚や植物、みんな雨と上手くつきあいながら暮らしているのです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹の「アマツブ楽団」がご案内します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ことばあめ”。

●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



日本各地を旅して
いろいろな仲間たちに
あえるかもね！



この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク (JAWANET)」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



ARAKAWA MUSEUM OF AQUA 荒川知水資料館

【交通】●JR赤羽駅(東口)より徒歩約20分
●JR赤羽駅より都バス「豊島5丁目団地」行き「岩淵町」または「志茂2丁目」下車、徒歩約10分
●地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩約15分

【住所】〒115-0042 東京都北区志茂5-4-1-1
【電話】03-3902-2271

